

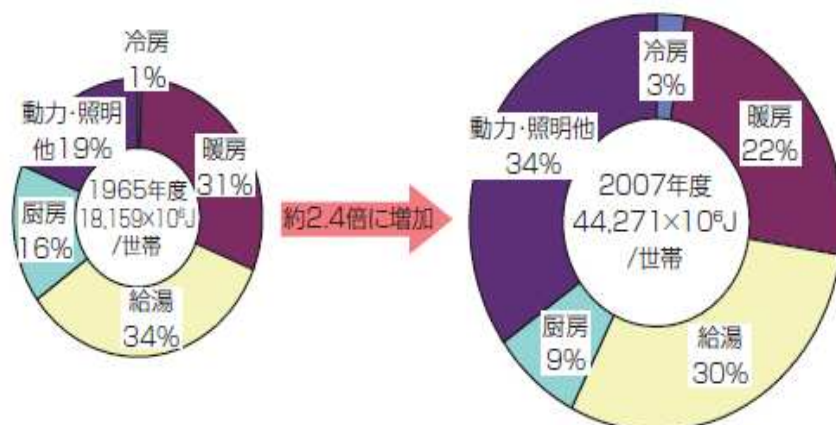
家庭における創エネ・省エネ



2011年2月1日
川崎市地球温暖化防止活動推進センター
センター長 竹井斎

家庭でのエネルギー消費の現状

世帯当たりのエネルギー消費量と用途別エネルギー消費の推移



出典：(財)日本エネルギー経済研究所「エネルギー・経済統計要覧」、資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」により(財)日本エネルギー経済研究所推計
(注)「総合エネルギー統計」は、1990年度以降の数値について算出方法が変更されている。

家庭における65%削減例

家電・車等	買い替え内容	現在CO2	買替後CO2	CO2差
エアコン2台	1998年型→省エネ型	566kg	353kg	△213kg
冷蔵庫1台	1998年型→省エネ型	294kg	123kg	△171kg
ガス給湯器	電気の高効率給湯器	784kg	321kg	△463kg
蛍光灯15灯	蛍光灯→LED電灯	213kg	107kg	△106kg
白熱灯3灯	白熱灯→蛍光灯電球	23kg	6kg	△17kg
自動車	ガソリン→ハイブリッド*	2167kg	852kg	△1315kg
その他	テレビ、VTRなど	1063kg	1066kg	△3kg
太陽光発電	3679KW発電/年	0kg	△1354kg	△1354kg
製品製造時に発生するCO2		0kg	335kg	+335kg
合計		5110kg	1809kg	△3301kg

※10年で“元がとれる”

我が家の低炭素生活実現計画
(国立環境研究所2009)

3

太陽光発電設置費用と回収予想(3.843kw)

項目	内容	備考
システム価格	2,300,000円	
国補助金	-268,800円	
県補助金	-120,000円	
市補助金	-120,000円	
小計(個人負担)	1,791,200円	
予想発電/年	4,030kw	
予想回収金額/年	193,440円	
回収予想年数	9.3年	

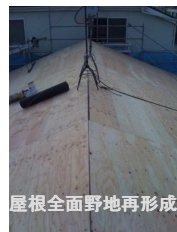
家族の合意形成

- 妻.....
- 息子と娘.....

1

屋根葺き替え

旧屋根の労をねぎらい、新たな屋根をしっかりと葺きました



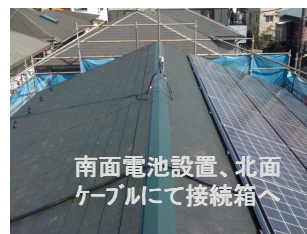
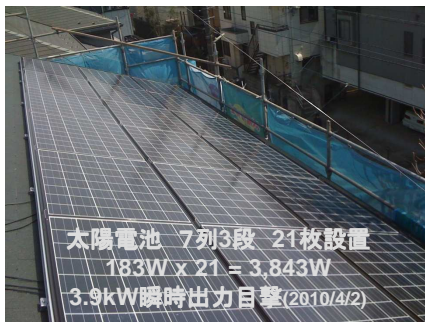
2

屋根新調＋太陽光基礎形成



3

太陽電池の取り付け



4

システム機器及び年間発電等



多結晶太陽電池
21枚 7直3並列組合せ

予想年間
最大発電
4,135 kWh*

予想年間発電金額
198,480(x48円)
* 日陰なし時

power conditioner
交流変換と系統連系保護
PVN-403F



液晶monitor
発電と電力消費表示



自立運転コンセント
災害時 電力供給

災害時対応可能も利点です



- ① 運転スイッチを「切」
- ② 外部サービスブレーカーを「OFF」
- ③ 運転スイッチを「入」



- ④ 自立運転専用コンセントに
使用したい電気製品をつなぐ

5

太陽光発電システム機器



液晶モニターによる発電・消費電力確認



風雪に耐え続けた外壁塗装

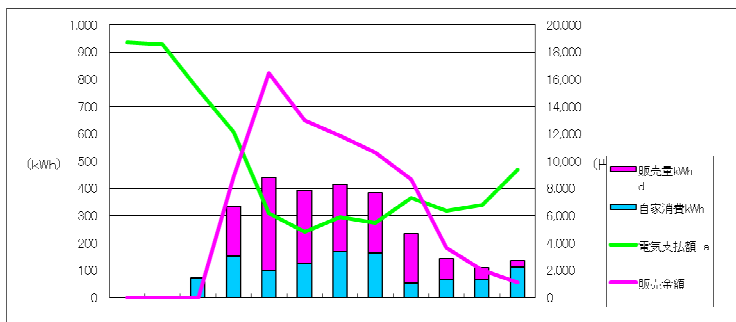


壁面も、明るい色合いに
塗装塗り替えを実施。



写真協力：(株)イスズ

発電実績(2010年4月～12月)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	※
電気支払額 ^a	18,727	18,560	15,256	12,131	6,156	4,827	5,878	5,480	7,283	6,355	6,797	6,386	116,847
販売金額	0	0	0	8,880	16,464	13,008	11,856	10,656	8,880	3,648	2,016	1,104	76,320
発電量 kWh ^c	0	0	73	336	440	385	416	385	235	142	110	136	2,686
自家消費kWh	0	0	73	151	97	124	169	163	54	66	68	113	1,078
販売量kWh ^d	0	0	0	185	343	271	247	222	181	76	42	23	1,598

課題：樹木の影



シンボルツリー
(メタセコイア)

効果？ 見える化



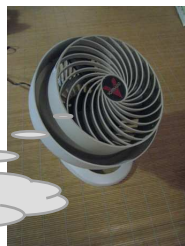
我が家の他の取り組み



ガスストーブ



テレビは
居間に1台



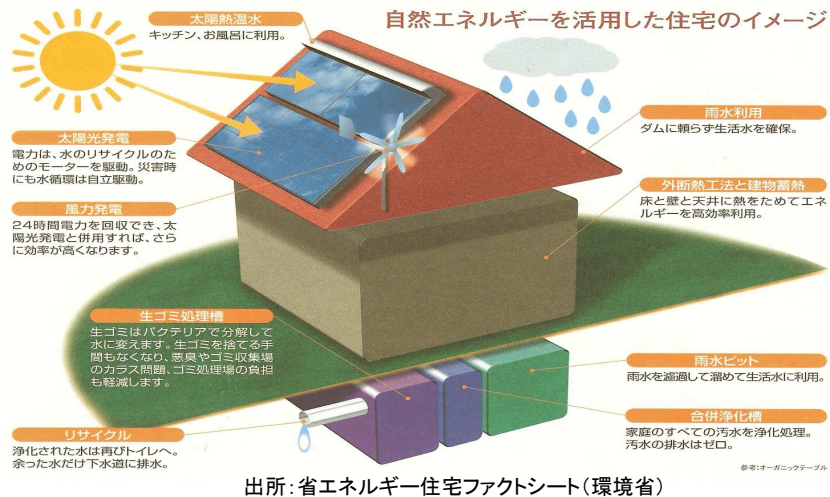
サーキュレーター



節水シャワー

などなど

自然エネルギーの活用



太陽光利用

- パッシブソーラシステム
- アクティブソーラシステム
- ・蓄熱利用
- ・照明利用など
- ・太陽熱温水
- ・太陽光発電など

川崎市地球温暖化防止活動推進センター

指定団体: 特定非営利活動法人アクト川崎

指定年月日: 2010年12月1日

根拠: 地球温暖化防止活動推進法第24条

- ・啓発・広報活動、推進員や民間団体の活動を助ける
- ・日常生活に関する温室効果ガスの排出抑制等の照会・相談、助言
- ・日常生活に関する温室効果ガスの排出実態の調査、情報・資料分析
- ・住民の活動を促進するため、分析の結果を提供すること。

事務所: 〒213-0001 高津区溝口1-4-1

ノクティプラザ2(マルイ)11F 高津市民館内

電話: 044-813-1313 FAX: 044-813-1350

メール: office@kwccca.com <http://www.cckawasaki.jp/kwccca/>

17

CCかわさき交流コーナー



溝の口ノクティ2・
高津市民館内

火曜～日曜(月曜休み)
9時30分～17時30分



資料をお待ち
しています



相談員

NPO法人 アクト川崎

川崎市の環境保全に関する事業を行い、地球温暖化防止およびライフスタイルの見直しに寄与することを目的とし、環境の保全をはかる活動、社会教育の推進をはかる活動、まちづくりの推進をはかる活動、環境保全団体への支援活動を行う。



成人式のエコ宣言

設立：2006年5月、会員数：個人30名、12団体

主な事業：

かわさき地球温暖化対策推進協議会事務局

CCかわさき川崎温暖化対策推進会議事務局

地域環境リーダー育成講座の企画運営

川崎市地球温暖化防止活動推進センター・

CCかわさき交流コーナー運営 など



環境講座・廃棄物処理施設見学